

# 東京2020オリンピック競技大会

毛呂山町出身選手の活躍

## 森 さやか 選手

(ソフトボール)

# 金

# メダル獲得!



写真:アフロスポーツ

### 町民の皆様

この度は沢山の温かい応援有難うございました。応援動画も拝見しました。本当に多くの方々、子供達のメッセージに胸が熱くなりました。その動画や皆様のおかげでこの金メダルを取ることが出来ました。

“ありがとうございます”

又、最高の仲間達と試合が出来た事、町民の皆様と一緒に感動を共有出来たことが嬉しいです!!

そして、町長を始めとする役員や後援会の皆様にも深く感謝を申し上げます。

最後になりますが、これからもソフトボールの応援を宜しくお願い致します。

日本女子ソフトボール代表  
森 さやか

### プロフィール

1988年9月29日生まれ。町立光山小学校、川角中学校を卒業後、星野女子高校（現在の星野高校）、東京女子体育大学に進学し、現在はビックカメラ高崎に所属。令和元年11月からは毛呂山町の観光大使も務めています。

#### ■個人賞受賞歴

- ・ベストナイン 3回 (2013、2017、2019)
- ・首位打者 1回 (2013)



写真:長田洋平/アフロスポーツ

7月27日、東京2020オリンピックのソフトボール決勝で、日本がアメリカに勝利し、見事に金メダルを獲得しました。ソフトボール競技は、2008年の北京オリンピック以来の実施であり、日本は連覇を達成しました。

森さやか選手は、アメリカ代表のエースであるモニカ・アボット選手から「日本で一番怖い打者」と言われるほど、チャンスで勝負強く、強打が持ち味の選手であり、今大会でも大事な場面で起用され、栄冠への一翼を担いました。



写真:青木絃二/アフロススポーツ

森選手はオリンピックを終えた現在の心境について、「1年オリンピックが延期になり、選手選考も1年延びて上手く行かないことや自分自身信じられないことなど、今まで選手をしていてこんなに不安を感じたことがなかった年でした。しかし、オリンピックが始まると緊張や不安はなく、打席に立っていても楽しんでる自分がいました。」

今まで様々な葛藤<sup>かつとう</sup>や苦勞をしてきたからこそ楽しめたのかと思います。また、試合後には、たくさんのメッセージが届いていて、皆見てくれていたんだな、世界選手権で優勝するのは違っていてオリンピックは凄いな、と改めて思いました。この素晴らしい舞台に立たせて貰えた監督には感謝しかありません。」と語ってくれました。

200メートル個人メドレー

4位入賞

7月30日、男子競泳200メートル個人メドレーの決勝が行われ、1分56秒22の記録で4位入賞を果たしました。

瀬戸選手については、

400メートル個人メドレー、200メートルバタフライ、200メートル個人メドレーと3種目での五輪出場でしたが、惜しくもメダルを獲得することはできませんでした。しかし、レース後のインタビューでは、清々しい表情で「次は自分が金メダルを取れると信じて3年間、感謝の気持ちと謙虚な気持ちを忘れず、夢に向かってひたむきに努力したい」とパリ五輪を目指すことを表明しました。

決勝レースを見守った「瀬戸大也選手を応援する会」の高橋会長は、「大也選手が競技人生を続ける限り、これからも応援していきたい」と話しました。

瀬戸大也選手  
(競泳男子)



オリンピック3種目出場  
400メートル個人メドレー  
200メートルバタフライ  
200メートル個人メドレー

毛呂山町の皆様へ

東京オリンピックでは、温かい沢山のご声援本当にありがとうございました。毛呂山町の皆様からの応援メッセージ動画を拝見させて頂き、どんな時でも応援して下さいの方に胸が熱くなりパワーを頂けました。今回、結果は思返しかびきず、本当に悔しい大会になりました。3年後のパリ五輪に向けて、これから何度も頑張りたいと思います。頑張り姿をこれからも毛呂山町の皆様に見て頂けると嬉しいです。この度は、最後まで私の事を信じ熱く応援し続けて下さり、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

瀬戸大也